

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10020050

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設他整備 ・町有地実測調査設計及び用地確定調査委託 ・本町地区代替地他整備工事
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A		
単位施策	1	災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町都市対策事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	整備河川数					
事業目標	2河川					
住民参加 住民協働	有	川づくり検討委員会の開催	見直し年度			
			担当課	10 建設水道課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 ・河川公園施設他一式 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 (上水道、下水道移設) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川附帯工事 (下水道移設・道路整備) ・河川公園施設他整備計画 策定委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 (上水道、下水道移設、道路整備) ・ボンオコツナイ川河川公園施設 整備(照明ケーブル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事、附帯委託 (上水道、下水道移設、道路整備) ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川河川公園施設整備(ベンチ、四阿、照明他) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・ボンオコツナイ川附帯工事 (上水道、道路整備) ・ボンオコツナイ川河川公園施設 整備(照明、トイレ他) 	
	計画事業費	事業費(千円)	366,802	54,310	78,172	37,420	134,110
実績事業費	財源内訳	国庫支出金	0				
		道支出金	275,911	51,861	71,233	27,937	
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	90,891	2,449	6,939	9,483	36,151
実績事業費	事業費(千円)	115,094	46,502	68,592	0	0	
関連事項	特定財源の名称 道委託金 オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事委託金	【評価・実績】	(実施内容等) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川・ボンオコツナイ川附帯工事及び附帯委託 (上水道、下水道移設) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・北海道との協議 ・検討委員会の開催 ・オコツナイ川附帯工事 (下水道移設・道路整備) ・河川公園施設他整備計画 策定委託 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
		前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2河川	2河川	2河川	2河川
			年度達成率	86%	88%	0%	0%
		第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	13%	31%	31%	31%
			事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	雄武町都市対策事業	評価者	管理職 職氏名	課長	渡邊孝司
		評価者	作成者 職氏名	係長	永井栄次

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・河川。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備河川数								
【抱える課題やニーズは】	河川の氾濫。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全で災害に強い河川整備を目指す。	① 整備河川数/整備河川数の実績	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2河川</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2河川</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	2河川	実績値	2河川	達成度	100.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	2河川										
実績値	2河川										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	災害に強い河川整備による地域住民の安全確保。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	北海道との協議、打合せ。	オコツナイ川、ポンオコツナイ川に係る河川整備について、網走建設管理部興部出張所と協議、打合せを行った。									
	民間業者による委託・工事の実施。	民間業者の入札により、支障物件移設(下水道)工事、道路整備工事、周辺整備設計委託業務を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのできない事業であり町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、河川整備(橋梁・護岸等)が円滑に進められる環境が整えられ、隣接町道も整備を行った。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	舗装材や基礎材に再生材を使用したことで、事業費を抑制したことは効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域住民が安全に暮らせる災害に強い河川整備を行うためには、欠くことのない事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
北海道により実施されている事業であるため、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止